

石碑・石像などの調査

市内には石碑や石像が数多くあり、昭和61年の市の調査では、51基の存在が確認されています。

市は、先人の功績を改めて記録にまとめ、千歳の歴史を市民に広めるため、石碑類の調査を再度行っています。調査内容は、前回調査した石碑類の現状や調査漏れの拾い出し、新たに設置された石碑類の追加調査などです。

この調査事業は、「千歳文化財保護協会」と協働して行っています。

この会は、「美々貝塚」の清掃をはじめとする千歳の文化財の保護普及活動や歴史の研究に取り組む



榊原 武雄 さん

さかきばら たけお／栄町
千歳文化財保護協会会長

会の発足は昭和54年です。市の文化財保護を市民の力で補完しようと発足しました。市と市民が力を合わせて文化財を守ることは、このときから市民協働の考え方にたっていたと思います。石碑をめぐる行事に参加したところ、市の石碑や石像に関する資料が古くなっていることがわかりました。文化遺産である石碑や石像を保護するため、再度の調査と資料整備を協働事業として行うことになりました。この調査は、市の文化財保護行政に役立つほか、会員が調査により得た知識を広げることで市民の歴史や地域への関心や愛着を高めることができ、生きた文化財保護ができると思います。



石碑の調査

などの活動を行っています。

今回の調査では、これまでの活動で培われた千歳の文化財や歴史に関する幅広い知識を活用した成果が期待されます。

体験型市民協働人材育成講座

市は、さまざまな内容の協働事業を進めています。このうち市民の皆さんからの提案により行う事業を「市民提案型」協働事業といえます。

「体験型市民協働人材育成講座」は、市民協働を理解し、「市民提案型」協働事業を提案し実践できる人材の育成を目的に、市と「ミナクル運営協議会」が協働して開催しています。この講座は、講義や演習、プレゼンテーションなどを通して協働事業の創作体験を行うものです。

この講座では、市民活動団体が経験により積んだ知識の蓄積が活用されています。



体験型市民協働人材育成講座

「ちとせグルメ」アイデア募集

千歳産の食材を使った料理を募集し、新たな千歳の味を発掘する「ちとせグルメ」アイデア募集事業。

この事業は、市と「千歳セントラルロータリークラブ」が協働して行っています。

市民活動団体と市がいっしょに企画・実践することにより事業効果が高まることが期待されます。

平成22年度から始まる協働事業

●「広報ちとせ」表紙写真撮影事業：

写真愛好者もつ知識や技能を活用し、広報紙の表紙写真の撮影を行います。実施団体：「千歳科学技術大学写真サークル」

●「みんなで作ろう」「丈夫なマッチ棒の家」：

建築士がもつ専門的な知識を活用し、市民に建物の耐震化の基礎的知識を広げる教室を行います。実施団体：「社団法人北海道建築士会千歳支部」

●「男性の料理教室」事業：

料理指導の知識や経験を活用し、男性の料理への関心を高める料理教室を行います。実施団体：「千歳市食生活改善協議会」